

2025年4月25日
株式会社みずほ銀行

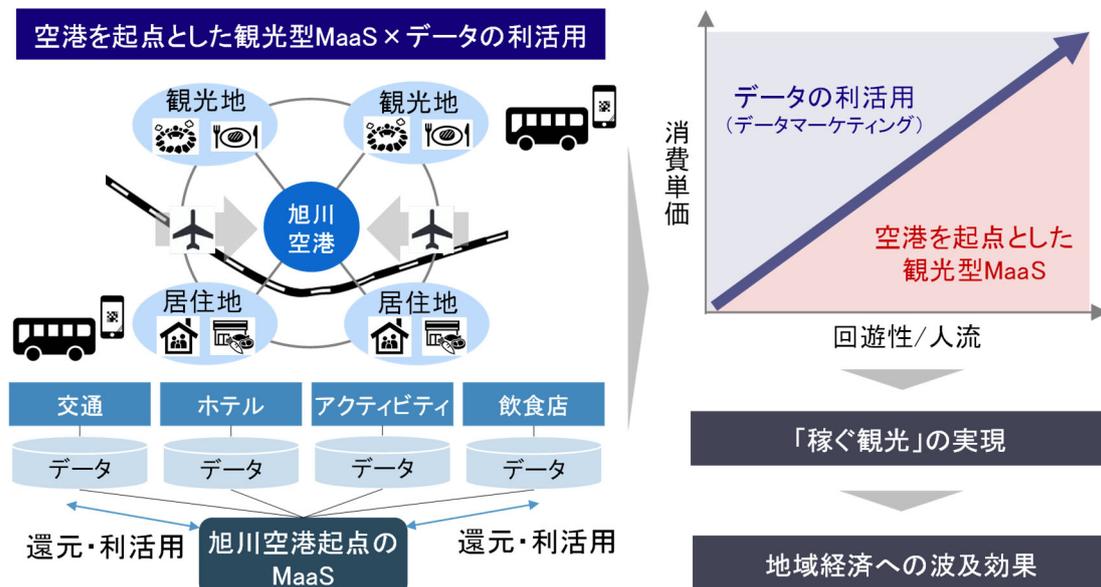
旭川空港を起点とした MaaS 推進事業の取り組みについて

株式会社みずほ銀行（頭取：加藤 勝彦）は、自治体・地元企業・大企業・大学などとともに産官学金による「旭川空港を起点とした MaaS 推進事業協議会（※）」（会長：国立大学法人北海道大学 岸 邦宏）を立ち上げ、国土交通省の令和7年度 日本版 MaaS 推進・支援事業（観光促進型）の採択を受けたことから、旭川空港を起点とした MaaS 推進事業を行ってまいります。

日本の公共交通を取り巻く環境は、人口減少やコロナ禍での生活変容の影響により、厳しさを増す一方、インバウンド対応のためのデジタルトランスフォーメーション（DX）やカーボンニュートラル実現に向けたグリーントランスフォーメーション（GX）など、課題は多様化・複雑化しています。特に、地域における公共交通の持続可能性は社会課題として顕在化しつつあり、地域経済の成長や発展を妨げる要因となることが見込まれ、遅滞なく対応していくことが要されます。

このような課題を解消する打ち手として、北海道の広域性に着目し、旭川にて日本初となる空港を起点とした MaaS 推進事業を行ってまいります。具体的には、交通手段をつなげることにとどまらず、観光資源となるエンドコンテンツまでを結ぶ MaaS 基盤を構築し、得られるデータを観光戦略や交通計画に活かすことで、域内における消費単価の向上と人流の増加を実現し、公共交通の持続可能性を高めるとともに、地域経済の成長へつなげていくことを目指してまいります。

【事業の概要イメージ図】



ともに挑む。ともに実る。

NEWS RELEASE

メガバンクで唯一 47 都道府県に拠点を有する〈みずほ〉は、パーパス「ともに挑む。ともに実る。」のもと、経済・社会の〈豊かな実り〉を実現していくべく今後も社会の変化を捉え、地域経済の成長に伴走していきます。

※協議会構成員と事業における役割（五十音順）

組織名	代表者	役割
一般社団法人旭川観光コンベンション協会	会長：山下 裕久	アドバイザー
旭川市	市長：今津 寛介	地域関係者調整、 アドバイザー
旭川商工会議所	会頭：新谷 龍一郎	アドバイザー
旭川電気軌道株式会社	代表取締役：河西 利記	二次交通の運行者
株式会社AIRDO	代表取締役社長：鈴木 貴博	一次交通の運行者
ジェットスター・ジャパン株式会社	代表取締役社長：田中 正和	一次交通の運行者
全日本空輸株式会社	代表取締役社長：井上 慎一	一次交通の運行者
道北バス株式会社	代表取締役会長：松本 神一	二次交通の運行者
日本航空株式会社	代表取締役社長執行役員： 鳥取 三津子	一次交通の運行者
東神楽町	町長：山本 進	アドバイザー
北海道エアポート株式会社	代表取締役社長：蒲生 猛	企画立案
北海道 上川総合振興局	局長：嶋田 貴洋	アドバイザー
一般社団法人北海道商工会議所連合会	会頭：岩田 圭剛	アドバイザー
国立大学法人北海道大学	工学研究院教授：岸 邦宏	アドバイザー
株式会社みずほ銀行	頭取：加藤 勝彦	企画立案、全体調整

以 上